

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	図書館施設維持管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	糸 和広
①めざすまちの姿	13 教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい		
②大施策	教育や子どもに関する予算を確保し、教育環境を整える		
③中施策	学校以外の教育施設・設備を充実する		
④中施策事業の対象	図書館施設		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	施設の改修や維持管理が適切に実施され、快適に利用できる環境が整っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	図書館施設点検事業・図書館清掃事業・樹木剪定事業・図書館施設改修(修繕)事業・ 図書館備品整備事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
入館者数(本館・栄分室)	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		236,000	236,000	237,000	238,000	239,000
	実績値	235,984	232,951				
単位	人						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			45,436千円	29,424千円	
人件費	a 事業費合計		39,485千円	23,515千円	21,143千円
	正規職員	人数	1人	1人	
		b 金額	5,951千円	5,909千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		5,951千円	5,909千円		
② 補助金等(収入)			113千円	112千円	119千円
③ コスト(①-②)			45,323千円	29,312千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			659円	426円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	おおむね達成している。
-----------------------------	-------------

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	LED導入により、よりよい読書環境をつくる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設の改修、備品の整備	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	資料情報管理事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	糸 和広
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	図書館資料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	図書館資料の詳細データが整備され、検索が容易にできる状態となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・図書館資料データ整備事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間の予約件数 (web予約含む)	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		10,900	11,500	11,500	11,500	11,600
	実績値	10,687	11,339				
単位	件						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			12,216千円	12,553千円	
人件費	a 事業費合計		9,240千円	9,598千円	7,368千円
	正規職員	人数	0.5人	0.5人	
		b 金額	2,976千円	2,955千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	2.5人	2.5人	
		金額	2,511千円	2,482千円	
人件費合計		5,487千円	5,437千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			12,216千円	12,553千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			178円	182円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	目標を達成し、予約資料を提供することによって、利用者に図書館への期待を高めることができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	書架の整理、資料データ、利用者データの整理を継続することによって検索の精度を高める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	図書館資料貸出事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	糸 和広
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	新しい文化を醸成する		
④中施策事業の対象	図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	読書推進によって、子どもの情操教育が充実し、市民も豊明の歴史・伝統・文化に対する関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館資料収集事業 ・ 図書館資料整理・保管事業 ・ 図書館資料レファレンス事業 ・ 読み聞かせ事業 ・ 読書ゆうびんコンテスト事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間貸出点数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		442,000	447,000	448,000	449,000	450,000
	実績値	440,866	446,046				
単位	点						
新規登録者数	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		1,300	1,350	1,400	1,450	1,500
	実績値	1,324	1,230				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			54,547千円	55,283千円	
人件費	a 事業費合計		30,743千円	31,647千円	36,766千円
	正規職員	人数	4人	4人	
		b 金額	23,804千円	23,636千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	10人	12人	
		金額	12,050千円	11,914千円	
人件費合計		35,854千円	35,550千円		
② 補助金等(収入)			0千円	1,080千円	0千円
③ コスト(①-②)			54,547千円	54,203千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			793円	788円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	目標値を達成し、貸出数が前年度に比べ5000点以上増えたことは大いに評価できる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	図書館行事や特設コーナーの活用	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	郷土資料保存事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	糸 和広
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	郷土資料等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	豊明の歴史、伝統、文化に関する資料及び情報が収集されるとともに利用しやすい環境が整備されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料収集事業 郷土資料整理・保管事業 郷土資料レファレンス事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
郷土資料の貸出冊数 (原則館内利用だが、5日間の特別貸出可能)	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		100	120	140	160	180
	実績値	138	84				
単位	冊						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			3,478千円	3,451千円	
人件費	a 事業費合計		502千円	496千円	11千円
	正規職員	人数	0.5人	0.5人	
		b 金額	2,976千円	2,955千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0.5人	0.5人	
		金額	502千円	496千円	
人件費合計		3,478千円	3,451千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			3,478千円	3,451千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			51円	50円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	参考資料室などにあるため利用者の目に入らないこともあり、利用が減っている。郷土を知るための大切な資料を多くの人に周知する必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	郷土資料の展示、HPや館報で資料の紹介をすることによって、資料の存在をより多くの人に知ってもらう。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		

中施策評価書

作成日 平成29年 11月 1日

中施策事業名	視聴覚教育事業	部課名	教育部・図書館
		作成者	糸 和広
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	視聴覚ボランティア等及び図書館利用者（児童・生徒とその保護者及び関係する地域住民）		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市の行事や名所などを映像で記録し、展示することによって、豊明の歴史、伝統、文化に関心が高まっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土映像資料収集事業 ・ 郷土映像資料整理・保管事業 ・ 郷土映像資料レファレンス事業 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
視聴覚郷土資料の 作品数の累計	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		38	45	50	55	60
	実績値	33	40				
単位	件						
	事業実施年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	目標値		0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			平成27年度	平成28年度	平成29年度
① 総事業費(a+b)			3,415千円	3,360千円	
人件費	a 事業費合計		439千円	405千円	479千円
	正規職員	人数	0.5人	0.5人	
		b 金額	2,976千円	2,955千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		2,976千円	2,955千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			3,415千円	3,360千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			50円	49円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現のための事務事業構成となっていますか	適当である	○	A
	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	平成23年度より市民から映像作品を募集し、さまざまな作品を収集できた。貸出用のDVDとして活用できた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	視聴覚講習会を継続的に実施し、より多くの作品を収集する。 映像資料の上映や、HPで動画配信をすることによって、資料の存在をより多くの人に知ってもらう。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	豊明市のPRに活用できるよう市広報に働きかける。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等
(昨年度の評価書を参照) 現年度に実施可能とした内容の実施状況		
(昨年度の評価書を参照) 翌年度以降に実施可能とした内容の実施状況		